

がん治療やケアの最新情報について学ぼう

第13回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO 2015) ペイシェント・アドボケイト・プログラム (P A P) 参加募集のお知らせ

2015年7月16日 (木) ~7月18日 (土)

謹啓

時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、第13回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO 2015) を開催するにあたり、ペイシェント・アドボケイト・プログラム (P A P : 患者や患者支援者のためのプログラム) を開催いたします。

わが国のがん医療をよりよいものにするためには、患者の視点に立ったがん医療の在り方を常に検討する必要があります。そして、その実現のためにはがん患者会やがん患者支援の会との連携が必要です。JSMO 2015では、難治がんへの挑戦-医学、医療、社会とのコラボレーションをメインテーマに、がんの先端医療のみならず、がん患者さんへのサポートやサバイバーシップについて皆様と共に考える会にしたいと考えております。

そこでJSMO 2015では、別紙のような優待プログラムを企画いたしました。

がん患者・支援者に対する学術集会参加費優待プログラムでは、学会期間中に学術的な情報を積極的に収集していただき、皆さまの今後の活動に活かしていただくことを期待しております。

また、3日目には第13回日本臨床腫瘍学会学術集会の市民公開講座、難治性がん啓発キャンペーン実行委員会と共催で難治性がんのイベントが開催されます。チャリティウオーク、市民公開講座、肺がん及び膵臓がんのセミナーとなっておりますので、こちらにもぜひご参加ください。

応募にあたって、最低限お守りいただきたいことを別紙に記載しております。お読みいただき、ご理解の上、応募をお願いいたします。また、スペースの都合上、団体毎に参加人数を制限させていただくことがありますのでご了承ください。

末筆ながら皆様の益々の御活躍をお祈り申し上げます。

謹白

平成 26 年 4 月吉日

第13回日本臨床腫瘍学会学術集会
会長 秋田弘俊
(北海道大学大学院医学研究科 腫瘍内科学分野)

特定非営利活動法人がんサポーターサポート北海道
理事長 大島寿美子
(北星学園大学文学部 心理・応用コミュニケーション学科)

第13回日本臨床腫瘍学会学術集会
ペイシェント・アドボケイト・プログラム（PAP）実施要項

応募資格を満たす方に対して、以下の優待プログラムを提供いたします。

① がん患者・支援者に対する学術集会参加費の優待

通常、学術集会参加費（非会員）¥12,000のところを¥3,000で参加いただけるプログラムです。PAP参加者は、自由に学会のプログラムの聴講が可能です（製薬企業との共催プログラムや企業展示のコーナーを除きます）。また、参加者の方は、PAP参加者向けの下記プログラムに参加いただけます。

※PAP参加者は、自由に学会のプログラムの聴講が可能です（製薬企業との共催プログラムや企業展示のコーナーを除きます）。

② がん患者団体・支援団体に対する無償展示スペースの提供

活動実態を有するがん患者団体・支援団体に対し、ロイトン札幌2階にあるPAP展示スペースを無償提供するプログラムです（10団体）。詳細は別紙の企画展示募集要項をご参照ください。

※ロイトン札幌3階の企業展示への立ち入りは、薬事法の関係から患者への情報提供ができないので立ち入りはできません。

対象：がん患者・家族、がん患者団体・支援団体、がん医療対策に携るがん患者・支援者

※ 医師・歯科医師・医療関係者・企業・メディカルスタッフ（医師以外の医療従事者）の方は、本プログラムには応募できません。学術集会参加者としてご登録ください。

期間：2015年7月16日（木）～7月18日（土）

参加費：3,000円

【16日（木）】

9:00～9:20 Room 14（ロイトン札幌 20F「パールホールAB」）
ペイシェント・アドボケイト・プログラム オリエンテーション
特定非営利活動法人キャンサーサポート北海道理事長 大島寿美子

9:30～11:00 Room 14（ロイトン札幌 20F「パールホールAB」）
患者力をあげるために－学会発表をよりよく理解する方法－
企画・演者：マイ・オンコロジー・ドリームプログラム
（一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト、公益財団法人日本対がん協会）

11:20～12:10 Room 14（ロイトン札幌 20F「パールホールAB」）
肺がん・消化器がん領域の最新情報（軽食付きランチョンセミナー）
肺がんの薬物療法
水柿 秀紀（北海道大学病院呼吸器内科）
大腸がんの薬物療法
大原 克仁（北海道大学病院腫瘍内科）

【17日（金）】

11:45～12:35 Room 14（ロイトン札幌 20F「パールホールAB」）
乳がん領域・陽子線治療の最新情報（軽食付きランチョンセミナー）
乳がんの薬物療法
古川 孝広（国立がん研究センター東病院 先端医療科／乳腺・腫瘍内科）
陽子線治療
清水 伸一（北海道大学病院放射線治療科）

※注意事項

① 発言について

PAPランチョンセミナー以外のプログラムでは、PAP参加者側からの質問はできません。

② 写真撮影について

PAPランチョンセミナー以外のプログラムでの写真撮影はできません。

③ 医師との接し方について

学会中は移動や、次のセッションの発表等の準備があるので、通路での質問や足止めをすることの無いようご留意ください。なお会話する場合は、医師に時間があることをご確認の上、手短にお願いします。また、医師へ個別の治療の相談や、個人的な質問はご遠慮下さい。

④ 製薬企業との共催プログラム、企業展示について

製薬企業との共催プログラムへの参加はできません。また、ロイトン札幌3階の企業展示への立ち入りは、薬事法の関係から患者への情報提供ができないので立ち入りはできません(ロイトン札幌2階のPAP展示スペースを除く)。

■ 申し込み方法

① 学術集会プログラム (個人)

ご参加をご希望の方は、別紙のペイシエント・アドボケイト・プログラム参加応募用紙に必要事項をご記入の上、6月30日(火)迄にFAXまたはE-mailで運営事務局までお申し込みください。

② がん患者団体・支援団体に対する無償展示スペース提供プログラム (団体)

別紙の企画展示申込書に必要事項をご記入の上、6月30日(火)迄にFAXまたはE-mailで運営事務局までお申し込みください。

業務委託：特定非営利活動法人 キャンサーサポート北海道